

☆ 1年生の親子読書の感想をご紹介します ☆

＜本の題名＞えんとつ町のプペル

＜子どもの感想＞はいたつやさんがもっていておとしたのは、ルビッチのおとうさんのしんぞうだとおもいます。びっくりしました。ぜひよんでみてください。

＜家の人の感想＞プペルとルビッチの心の優しさに感動しました。結構長めのストーリーでしたが、2人して話に入り込んで、想いを共有できて良かったです。（1年生Nさん）



＜本の題名＞よかったねネッドくん

＜子どもの感想＞いろいろばめんがかわるところがおもしろかったです。よかったね、となるところがすきです。

＜家の人の感想＞パーティーに行くネッドくんに次々といろいろなハプニングが起きます。ピンチがきても、でもよかったね！という話が繰り返されて、ワクワクヒヤヒヤ、リズムがよく楽しい絵本です。絵も素敵で、親子共々大好きな本です。（1年生Kさん）



＜本の題名＞ムーミン谷の大こうずい

＜子どもの感想＞大こうずいになり、たいへんなじょうきょうなのに、やねの上であさごはんをおきらくにたべていてびっくりしました。

＜家の人の感想＞この本を読んで、東日本大震災のこと、鳥取県中部地震のことを2人で話しました。自然の厳しさと共存し、大好きな土地で好きな家族や友達と精一杯楽しく強く“生きる”ムーミン家族を愛おしく感じました。（1年生Nさん）

＜本の題名＞やさいのおしゃべり

＜子どもの感想＞やさいがかわいそうだった。のこさずたべようとおもった。

＜家の人の感想＞絵本のように本当に野菜のおしゃべりが聞けたら、我が家の冷蔵庫の中は大騒ぎです（笑）。日頃から“もったいない”を意識して献立を考えたり、調理をしつけないといけないあと改めて思いました。（1年生Oさん）



＜本の題名＞おねえちゃんって、いつもがまん！？

＜子どもの感想＞こちゃんいろいろがまんをしているところがおなじだとおもった。けど、ほんとうはだいすきだとおもってくれていることがわかって、うれしかった。

＜家の人の感想＞おねえちゃんならではの悩み。日々感じているんだろうなとおもった。大好きだよって言葉や態度で伝えていかないと感じた。（1年生Kさん）



＜本の題名＞あらしのよるに

＜子どもの感想＞かなしかったし、ながかったです。「あらしのよるに」というだいめいだけで、こわかったです。

＜家の人の感想＞長い話でしたが、読み進めていくにつれ集中して聞いている姿が見られました。次の展開に「どうなるんだろう」と、そわそわしているようでした。おおかみとやぎの姿に胸を打たれたのか、涙を流していました。「友達って大切だね」と声をかけると、「うん・・・大切」と言っていました。友達の大切さ、命の大切さ、はかなさをこの本を通して感じてくれたらいいなと思いました。

（1年生Nさん）

